

## TOTO

## オートクリーンC (コンビネーションタイプ・スイッチユニット)

TES26型  
TES27型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

## 1-1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。  
左図は、「分解禁止」を示します。

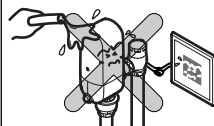


ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。  
左図は、「必ず実行」を示します。

## 警告

電源プラグや機能部に水をかけない

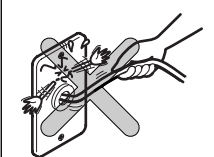
火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを折り曲げたり、重いものを乗せるなど乱暴に扱わない

火災や感電の原因になります。



電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない

火災や感電の原因になります。



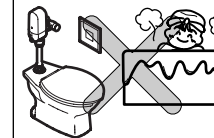
## 警告



水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない

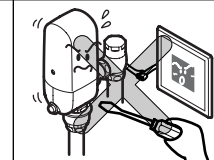
故障や感電の原因になります。



分解禁止

分解したり、修理・改造は絶対に行わない

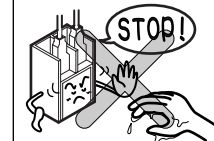
故障や感電の原因になります。



接触禁止

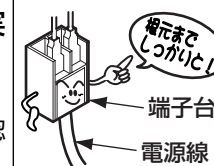
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。








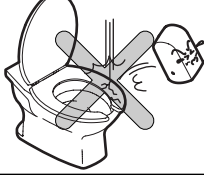
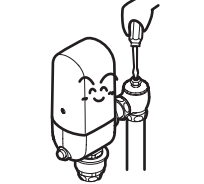
必ず実行

電源線を端子台に差し込むときは、根元まで確実に差し込む

火災や感電の原因になります。  
※この作業の前に必ず電源ブレーカーが切ってあることを確認してください。

# 1-2

## 注意

 <b>禁止</b>	<b>強い力や衝撃を与えない</b> 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>凍結が予想される場所には設置しない</b> 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
	<b>本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない</b> 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	
 <b>必ず実行</b>	<b>バルブ本体（カバーは金属製）は重いため取り扱いには十分に注意する</b> 硬器などに落とすと、便器が破損して水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、けがをするおそれがあります。	
	<b>ピストンの掃除をする際は、いきなりピistonを取り出さずに、止水栓または元栓を閉めてから行う</b> （取扱説明書を参照してください）  水が噴き出て、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

# 2

## 仕様

スイッチタイプ		センサータイプ	タッチタイプ
洗浄水量調節範囲	大	8~16L調整可能	
	小	6~10L調整可能	—
設定水量（工場出荷時）		大洗浄：13L 小洗浄：10L	大洗浄：13L (TEF70LY型は、大洗浄:8L)
給水圧力	最低必要水圧（流動時）	0.07MPa以上 ※SK33（汚物流し）の場合は0.1MPa以上	
	最高水圧	0.75MPa	
電源		AC100V 50/60Hz（自動バルブユニット側に内蔵）	
消費電力		常時：3W以下 バルブ作動時：5W以下	常時：2W以下 バルブ作動時：4W以下
信号線長さ		10m（子機は6m）	
感知距離	人体センサー	800~400mmで5段階調節可能 (白紙□300mmの場合)	—
	手かざしセンサー	85mm（白紙□300mmの場合）	—
感知時間		6秒間以上	
小洗浄判定時間		120秒または150秒に設定可能 (工場出荷時は120秒にセット)	
機能		洗浄停止モード 自動洗浄（入/切 切替可能） 大小洗浄（大/大小 切替可能） 手かざし（入/切 切替可能） 手かざし時間（0.5秒/1秒 切替可能）	
設備保護洗浄		あり（24時間以下で自動設定）	
給水接続部		25A（ねじサイズ：R1）	
使用温度範囲		1~40℃	

（注）TEF70LY型は、幼児用腰掛大便器専用用品です。

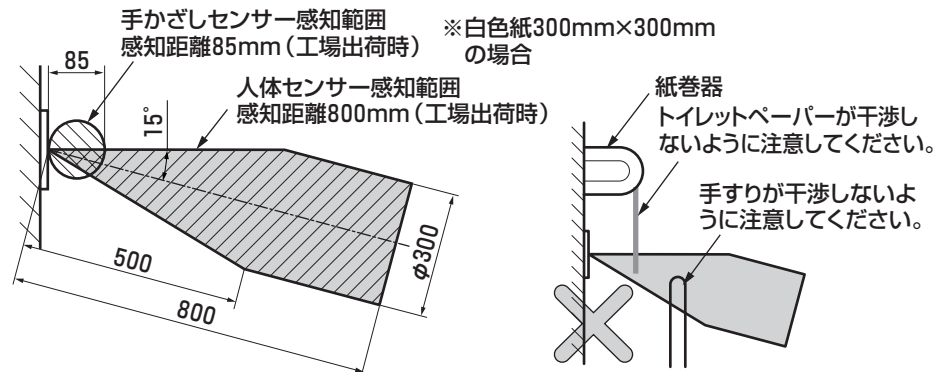
# 3

## 取り付け前に

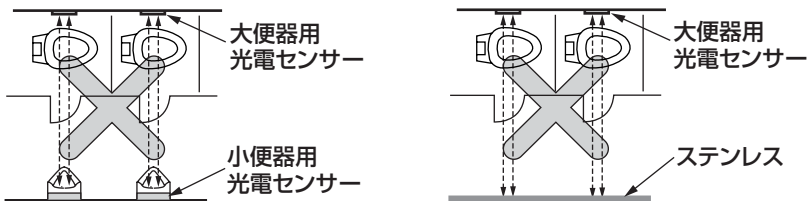
### 1. 取付条件の確認

- 下図A・Bの場合はセンサースイッチユニットを取り付けできませんので、事前にご確認ください。

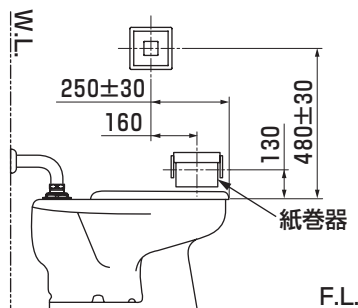
#### A. 下記感知領域内に障害物がある場合



#### B. センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、センサー同士が対向する場合



- 腰掛便器にセンサースイッチユニットをセットする場合は、紙巻器使用時に手やひじが手かざしセンサーの領域に入り、誤洗浄する場合がありますので、図の位置に紙巻器を取り付けてください。

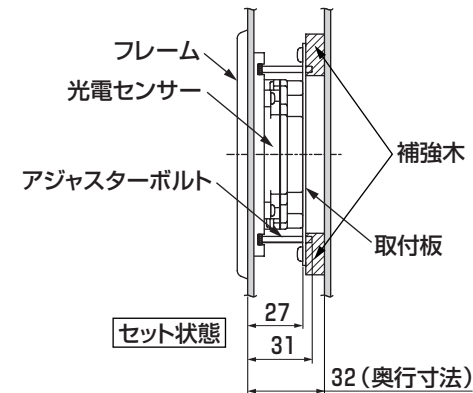


- 自動バルブユニットには、タッチスイッチユニットまたは、センサースイッチユニットのどちらか一方を接続します。(同種または異種のスイッチユニットを2個以上併設することはできません。2個設置の場合は必ず専用の子機をご使用ください。)

- 自動バルブユニットとスイッチユニットの信号線は付属の接続コードをご使用ください。また、誤作動するおそれがありますので付属の信号線の延長は行わないでください。

- パーティション壁の場合は、パーティションの中に信号線(付属)が通せることを事前に確認してください。

- パーティション壁の場合は、スイッチユニットを固定するための奥行寸法が32mm以上必要です。



- 現場手配の電線管、電線管コネクター、ボックスは必ず以下のものをご使用ください。
  - ・電線管……………合成樹脂製可とう電線管(JIS C8411 呼び16)
  - ・電線管コネクター…合成樹脂製可とう電線管用附属品(JIS C8412 呼び16)
  - ・ボックス(埋込タイプ)……………中形四角アウトレットボックス(JIS C 8340 カバーなし)
  - ・スイッチボックス(露出タイプ)…電線管コネクター呼び16が取り付け可能なこと(湿式工法の場合のみ)
- 万一の際の危険防止のため、過電流遮断器および漏電遮断器を必ず設置してください。

### 2. センサーについて

- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動(感知)しない場合があります。
- 男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。
- 施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分ご注意ください。

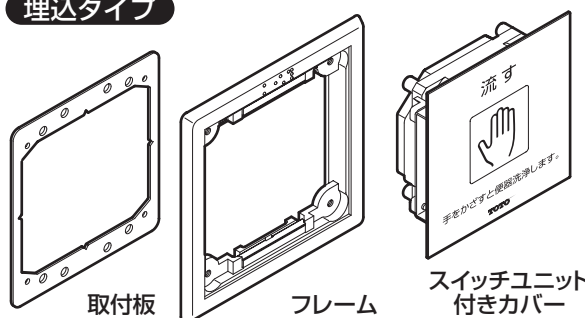
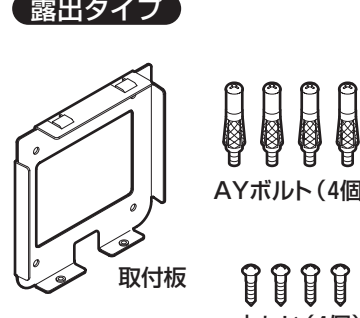
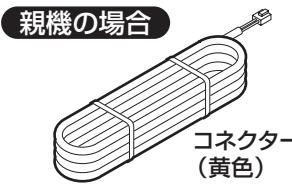
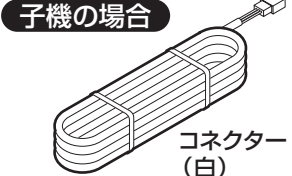
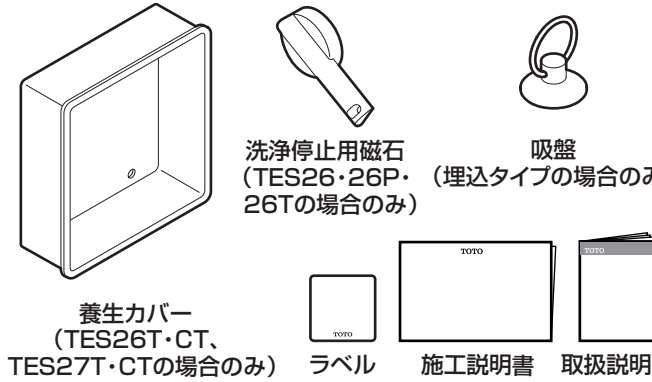
### 3. その他

- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- 水道工事と電気工事は、十分工程を打ち合わせのうえ、行ってください。

# 4

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

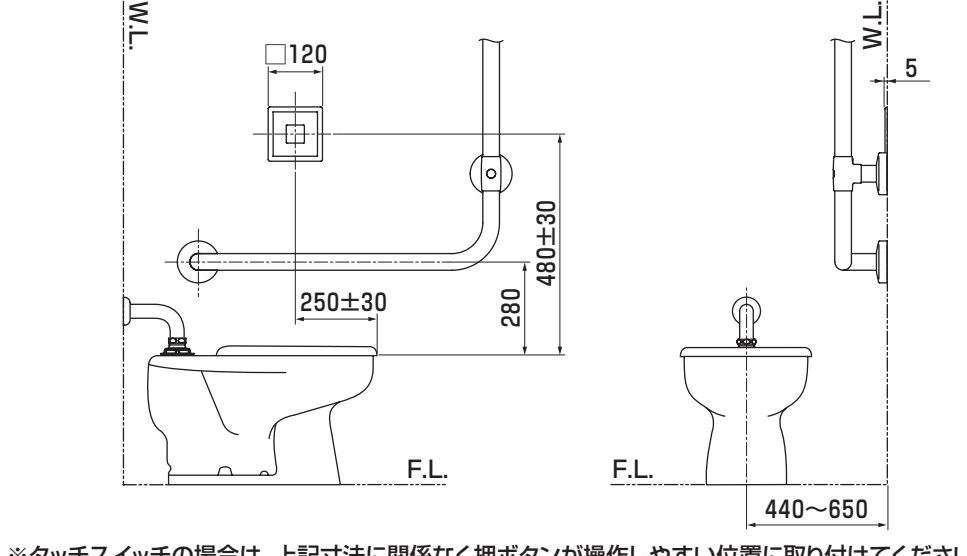
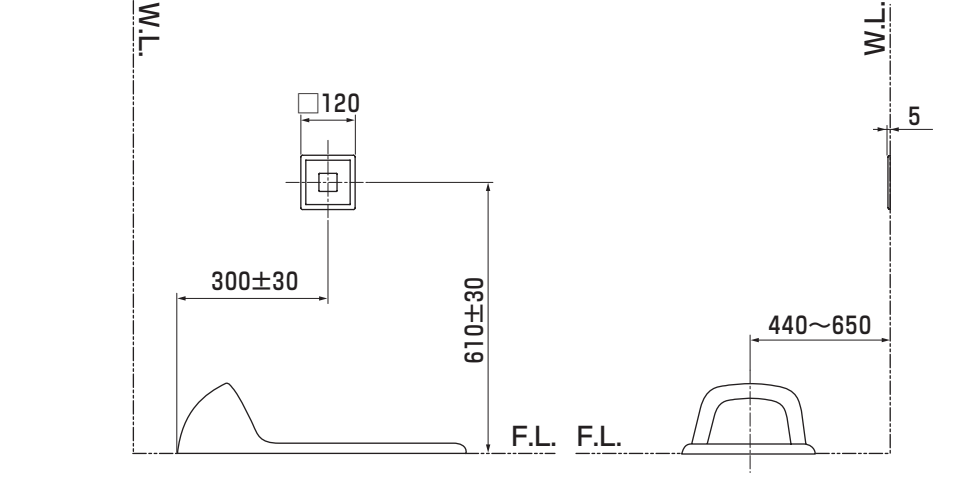
スイッチユニット部	
<p><b>埋込タイプ</b></p>  <p>取付板      フレーム      スイッチユニット付きカバー</p> <p>アジャスターボルト (30mm×4個)      ナット (4個)      ワッシャー (4個)</p> <p>木ねじ (4個) (TES26P・CP、TES27P・CPの場合のみ)      アジャスターボルト (50mm×4個) (TES26T・CT、TES27T・CTの場合のみ)      ねじ (4個)</p>	<p><b>露出タイプ</b></p>  <p>取付板      スイッチユニット付きカバー</p> <p>AYボルト (4個)</p> <p>木ねじ (4個)</p> <p>小ねじ (2個)</p>
<p><b>信号線</b></p> <p><b>親機の場合</b></p>  <p>コネクター (黄色)</p> <p><b>子機の場合</b></p>  <p>コネクター (白)</p>	<p><b>その他</b></p>  <p>養生カバー (TES26T・CT、TES27T・CTの場合のみ)</p> <p>洗浄停止用磁石 (TES26・26P・26Tの場合のみ)</p> <p>吸盤 (埋込タイプの場合のみ)</p> <p>ラベル      施工説明書      取扱説明書</p>

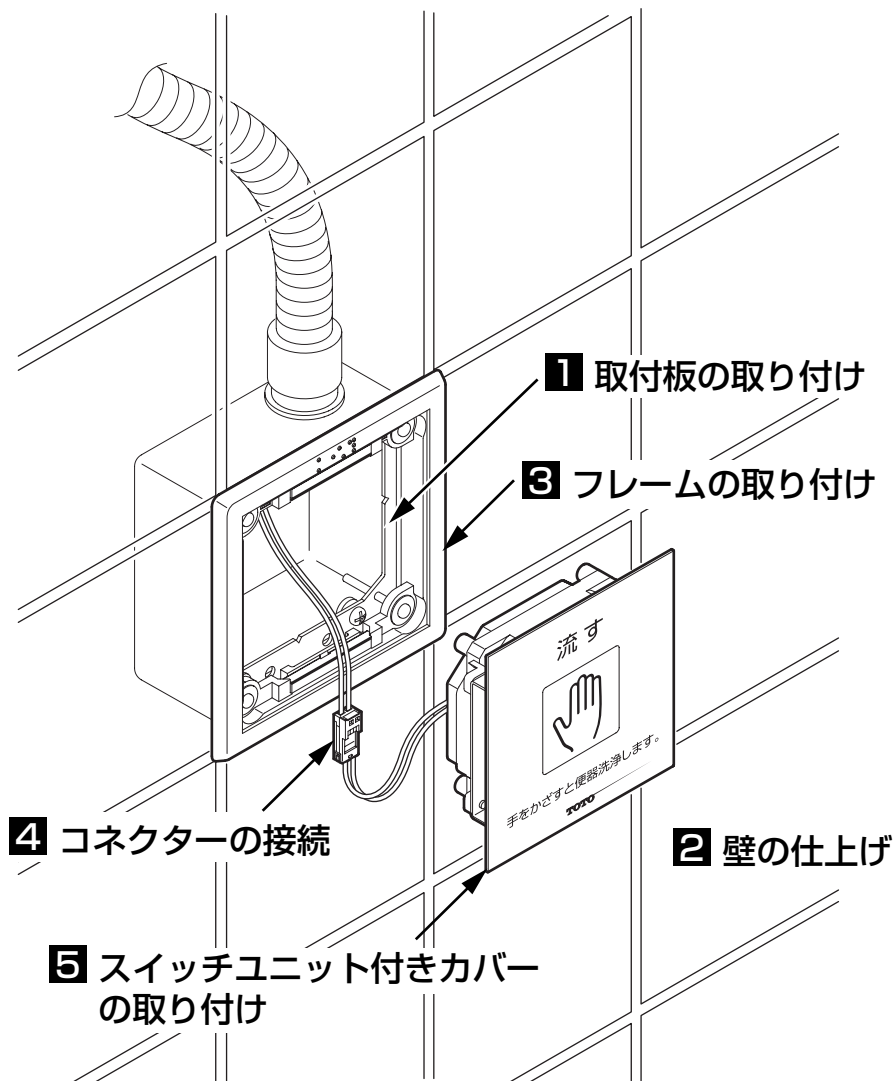
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

# 5

## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

<p><b>腰掛便器とセットする場合</b> ※センサースイッチ(親機)の場合</p>  <p>※タッチスイッチの場合は、上記寸法に関係なく押ボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。</p>
<p><b>和風便器とセットする場合</b> ※センサースイッチ(親機)の場合</p>  <p>※タッチスイッチの場合は、上記寸法に関係なく押ボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。</p>



## 1-1 取付板の取り付け

### 湿式工法の場合

- ① 下地壁に図のような開口部および中心線を正確に墨出し、はつる。
- ② 位置決めのため、ボックス (現場手配) に取付板をねじ (2カ所) で取り付ける。
- ③ ボックスに電線管コネクター (現場手配)、電線管 (現場手配) を取り付け後、介物やモルタルなどでボックスを仮固定する。  
※現場手配部品については「③ 取り付け前に」を参照してください。

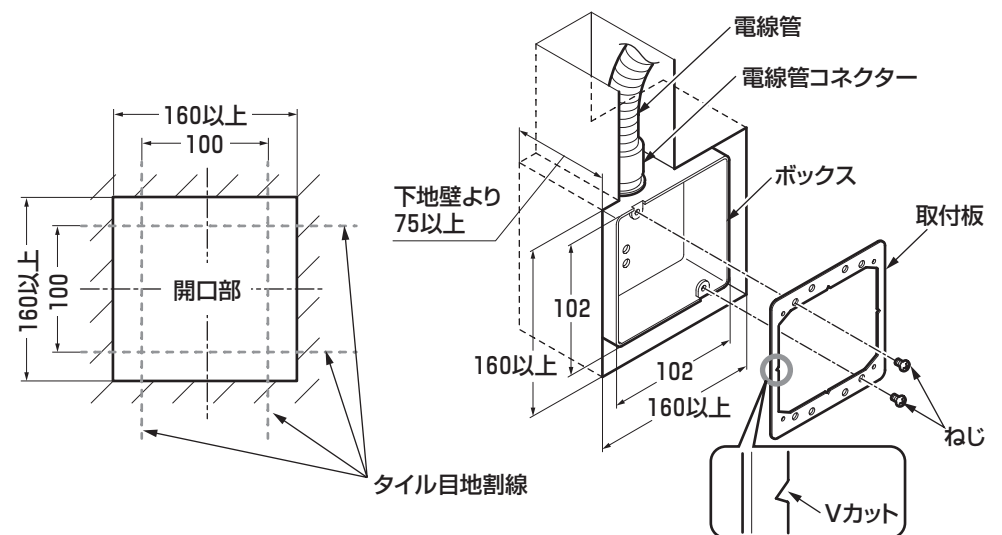
### 注意

- TES26T、TES27Tで、子機 (TES26CT、TES27CT) を接続する場合は、自動バルブユニットからの信号線 (10m) 並びに子機との信号線 (6m) 接続のため、ボックスに電線管コネクターを2個取り付けてください。
- ボックスの仮固定は下地壁に墨出した中心線と取付板のVカット部 (4カ所) が合うように正確に固定してください。

- ④ 付属の信号線をボックス内に引き込む。

### 注意

信号線は開口部から最低でも100mm程度見えるように引き回してください。また、信号線 (10m) はコネクター側がスイッチユニット側になるように引き回してください。



1-2

**乾式工法の場合**

- ①市販のボックス支持金具を使用し、軽量間柱(スタッド)にボックス(現場手配)を固定する。  
※現場手配部品については「**3 取り付け前に**」を参照してください。
- ②ボックスに取付板をねじ(2カ所、付属)で取り付ける。
- ③ボックスに電線管コネクター(現場手配)、電線管(現場手配)を取り付ける。

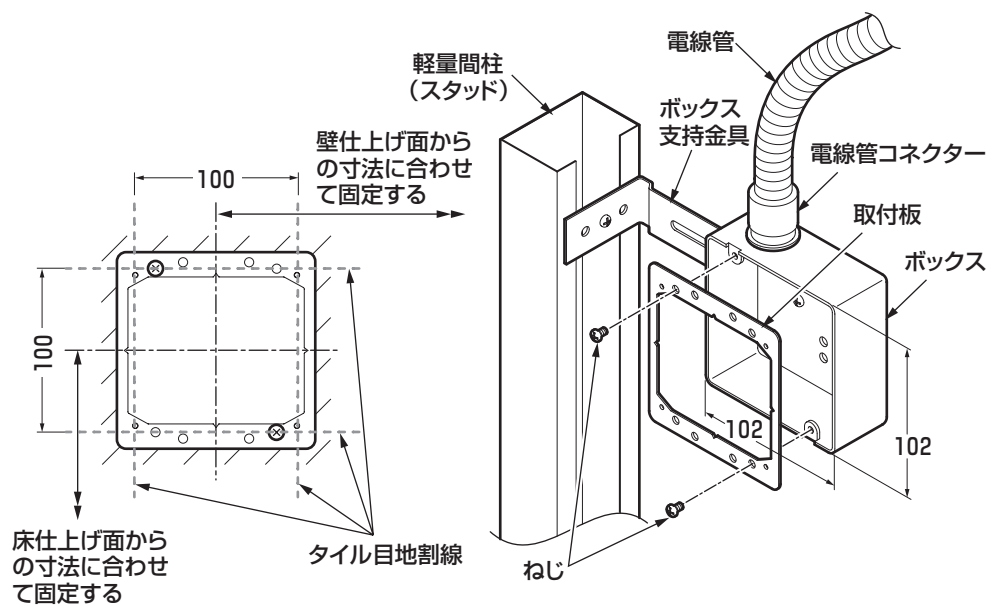
**注意**

ボックスはタイル割りを考慮し、正確に位置決めして取り付けてください。

- ④付属の信号線をボックス内に引き込む。

**注意**

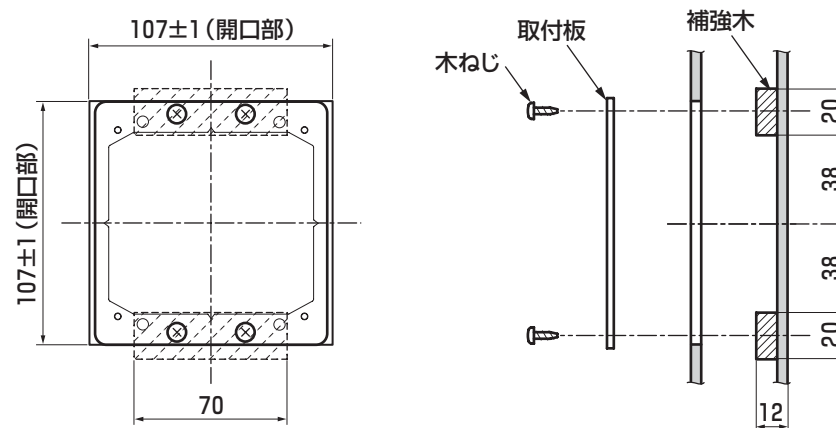
信号線は開口部から最低でも100mm程度見えるように引き回してください。また、信号線(10m)はコネクター側がスイッチユニット側になるように引き回してください。

**パーティション壁の場合**

- ①取付位置に図のような開口部を設ける。
- ②取付板固定用に補強木を入れる。
- ③取付板を木ねじ(4カ所、付属)で固定する。
- ④付属の信号線を壁内に引き回す。

**注意**

信号線は開口部から最低でも100mm程度見えるように引き回してください。また、信号線(10m)はコネクター側がスイッチユニット側になるように引き回してください。



## 2 壁の仕上げ

### 湿式工法の場合

- ①取付板を固定しているねじを外し、取付板と養生カバーをねじ(2カ所)で取り付ける。

#### 注意

必ず取付板を取り付けてください。

- ②ボックスの周囲をモルタルで埋め戻す。  
③下地壁にモルタルを下塗りする。  
④タイルを張付モルタルで張り付ける。

#### 注意

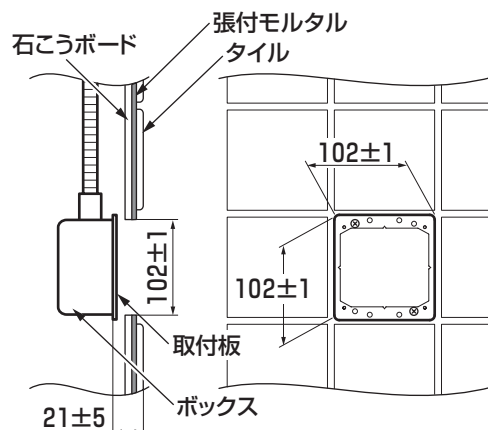
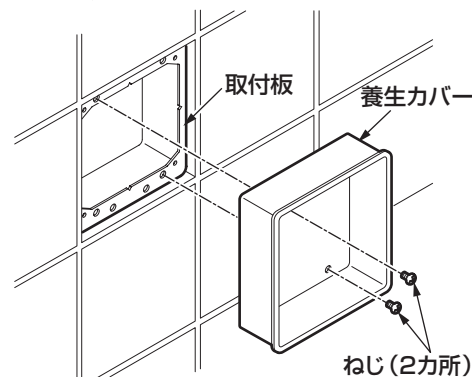
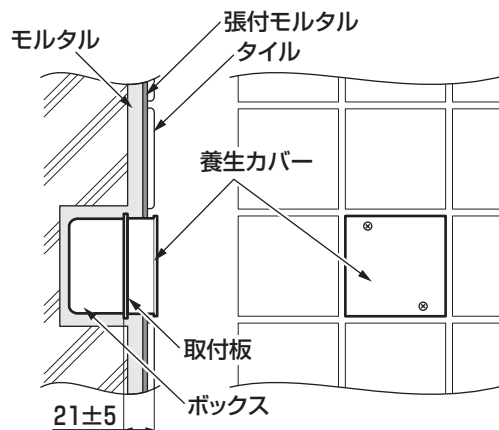
- タイルの水洗いはこの状態で行ってください。
- 酸洗いは器具を傷めますので行わないでください。

- ⑤ねじを外し、養生カバーを壁面から引き抜く。  
⑥ねじ(2カ所)で取付板を取り付ける。

### 乾式工法の場合

- ①石こうボードなどの下地ボードの所定の位置に(102±1)×(102±1)の開口を設け、下地ボードを施工する。

- ②タイルを張り、開口部の周囲を除いて目地詰めする。

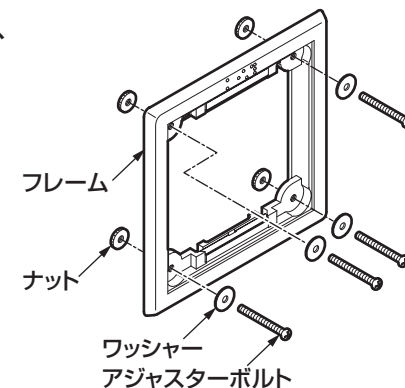


## 3 フレームの取り付け

- ①フレームにアジャスターボルト、ワッシャー、ナット(各4個)を取り付ける。

#### 注意

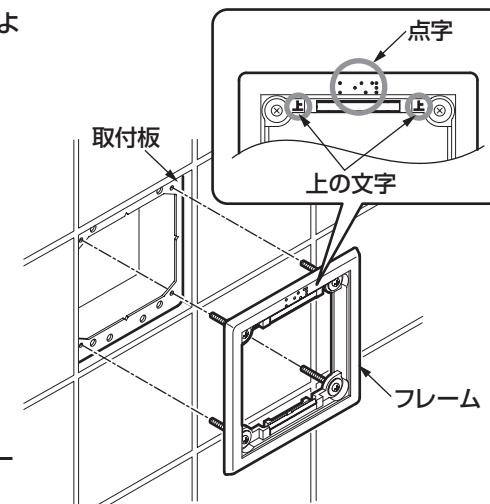
アジャスターボルトは30mmと50mmの長さのものが 있습니다。30mmで取付板に固定できない場合は、50mmのアジャスターボルトをご使用ください。(TES26T・CT、TES27T・CTの場合のみ)



- ②アジャスターボルトが取付板の穴に入るように、フレームを開口部にはめる。

#### 注意

- フレームは「上」の文字、点字が付いている方を必ず上に向けてください。
- フレームにソリが出るとスイッチユニット付きカバーがガタついたり、器具を破損するおそれがありますので注意してください。

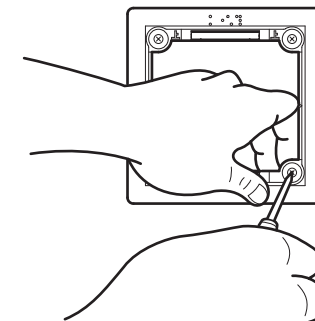


- ③フレームの位置を調整したあと、フレームをアジャスターボルトで固定する。  
※ナットを指で押さえながらアジャスターボルトをドライバー(+ )で締め付ける。

- ④フレームと壁面の間を全周白セメントか非酢酸系のシール剤でシールする。

#### 注意

酢酸系のシール剤はフレームを傷めますので使用しないでください。



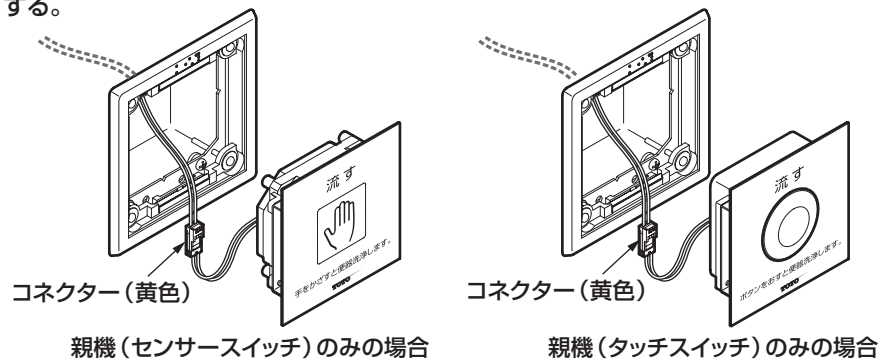
## 4 コネクターの接続

## 注意

スイッチユニット付きカバーを落下させますとコードがコネクタから抜けるおそれがありますので注意してください。

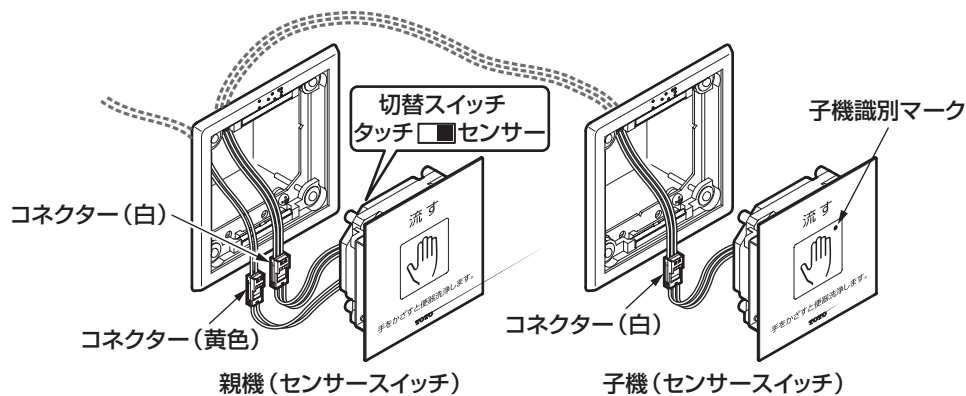
## 親機のみ(センサースイッチ、タッチスイッチ共通)の場合

- ①自動バルブユニットから引き込まれた信号線(10m、付属)のコネクタ(黄色)を接続する。



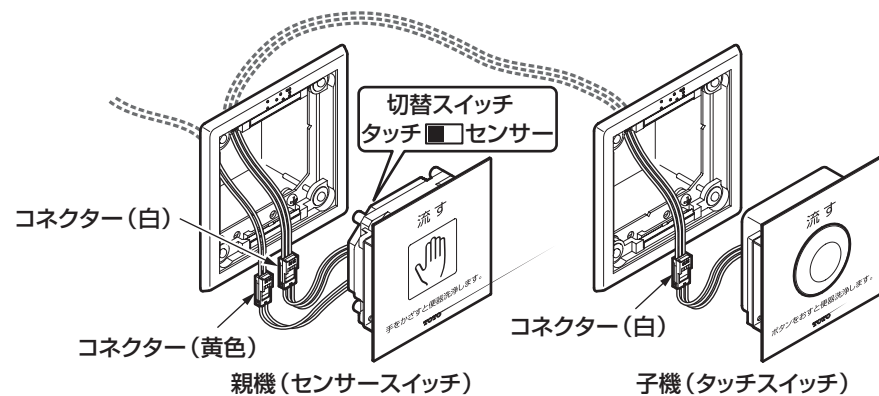
## 親機(センサースイッチ)+子機(センサースイッチ)の場合

- ①親機の切替スイッチ(SW6)がセンサー側になっていることを確認する。  
※確認方法は「9.2 切替スイッチの調節」を参照してください。  
②自動バルブユニットから引き込まれた信号線(10m、付属)のコネクタ(黄色)を親機のコネクタ(黄色)に接続する。  
③子機用の信号線(6m、付属)を親機と子機のコネクタ(白)に各々接続する。



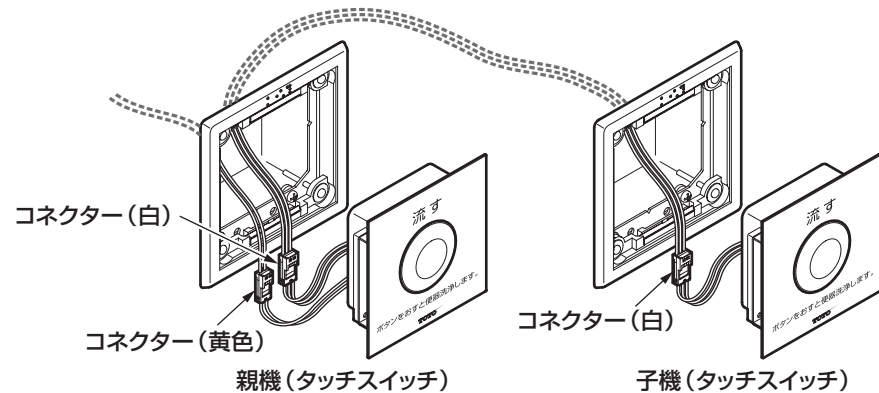
## 親機(センサースイッチ)+子機(タッチスイッチ)の場合

- ①親機の切替スイッチ(SW6)をタッチ側に切り替える。  
※切替方法は「9.2 切替スイッチの調節」を参照してください。  
②自動バルブユニットから引き込まれた信号線(10m、付属)のコネクタ(黄色)を親機のコネクタ(黄色)に接続する。  
③子機用の信号線(6m、付属)を親機と子機のコネクタ(白)に各々接続する。



## 親機(タッチスイッチ)+子機(タッチスイッチ)の場合

- ①自動バルブユニットから引き込まれた信号線(10m、付属)のコネクタ(黄色)を親機のコネクタ(黄色)に接続する。  
②子機用の信号線(6m、付属)を親機と子機のコネクタ(白)に各々接続する。

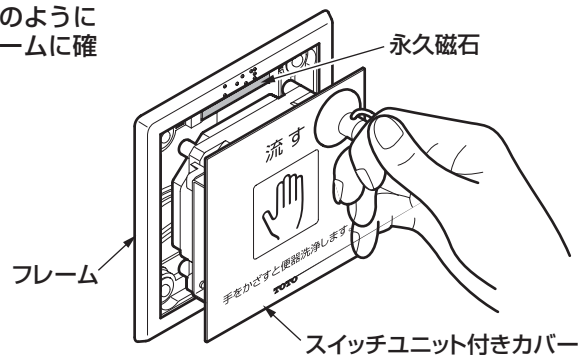


裏面へつづく

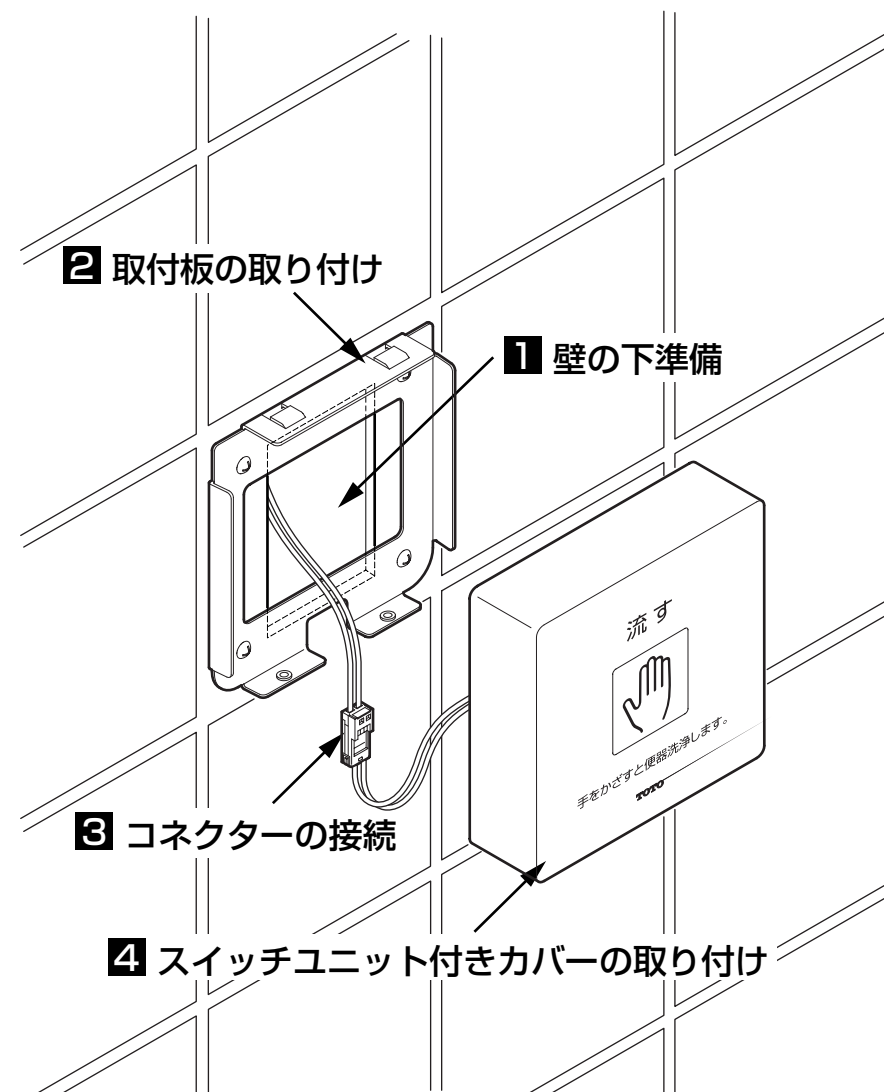


## 5 スイッチユニット付きカバーの取り付け

スイッチユニット付きカバーを図のように永久磁石の部分に吸着させ、フレームに確実に取り付ける。



## 施工手順 (露出タイプの場合)



## 1 壁の下準備

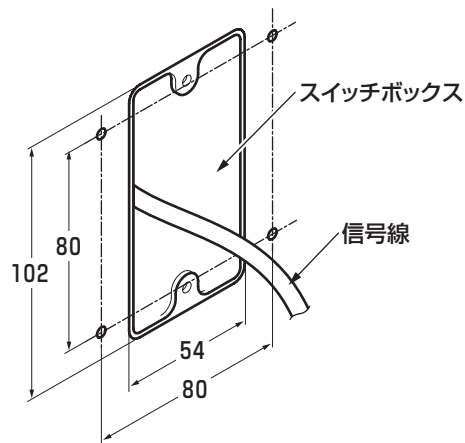
### 湿式タイル壁の場合

- ①スイッチボックス (JIS C 8340 1個用カバーなし現場手配) を壁面から飛び出さないように取り付ける。

#### 注意

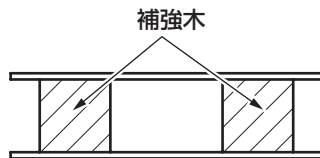
電線管コネクター呼び16が取り付け可能なスイッチボックスを準備してください。

- ②スイッチボックスから信号線を取り出す。



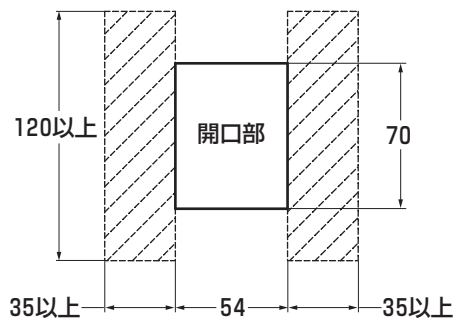
### パーティション壁の場合

- ①取付位置に右図のような開口部を設ける。
- ②取付板固定用に補強木を入れる。
- ③信号線を取り出す。



#### 注意

パーティションの中に信号線が通せることを事前に確認してください。



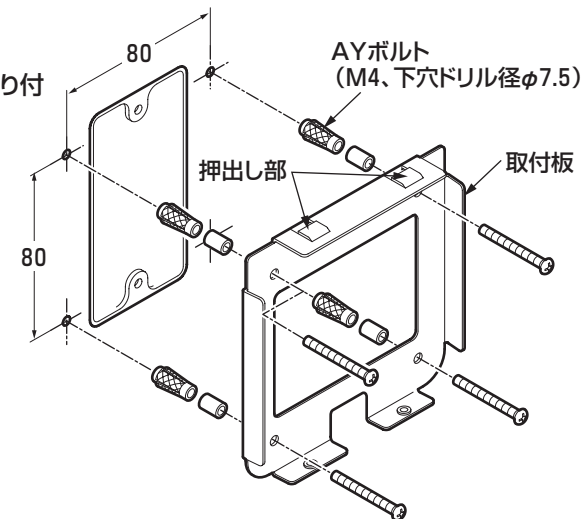
## 2 取付板の取り付け

#### 注意

押し部が上になるように取り付けてください。

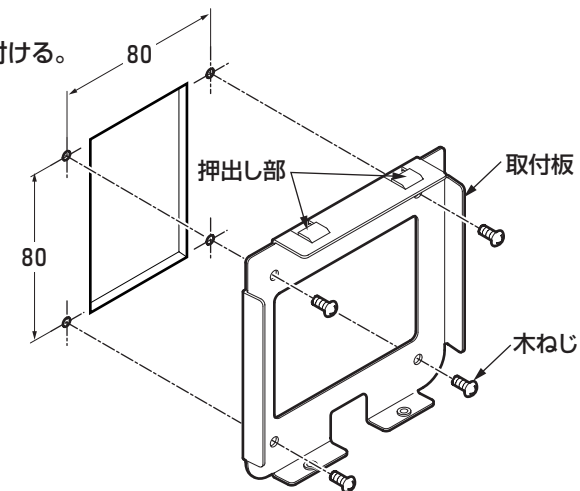
### 湿式タイル壁の場合

取付板をAYボルト (4本) で壁に取り付ける。



### パーティション壁の場合

取付板を木ねじ (4本) で壁に取り付ける。



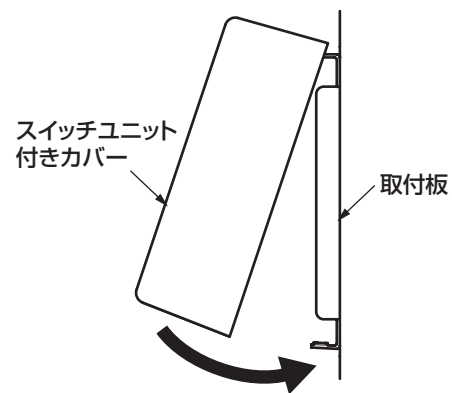
### 3 コネクターの接続

コネクターを接続する。

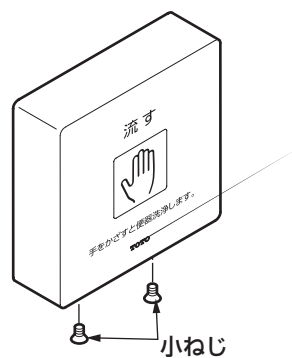
接続方法は「6-4 - 4 コネクターの接続」を参照してください。

### 4 スイッチユニット付きカバーの取り付け

①スイッチユニット付きカバー内側のへこみ部を取付板の押し出し部にひっかけながら、矢印の方向に回転させ取り付ける。



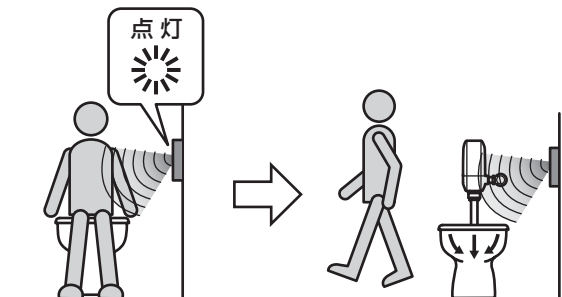
②下面を小ねじで固定する。



※試運転は自動バルブユニットとセットで行ってください。

### センサースイッチの場合

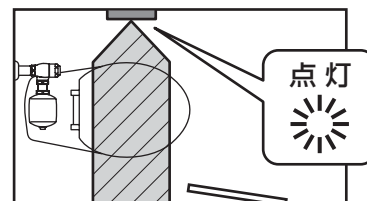
センサーの前に座り、使用者を感知すると感知表示ランプが点灯し、6秒以上点灯させたあと、立ち去ると感知表示ランプが消灯し、約10秒後洗浄水が流れることをご確認ください。



感知表示ランプが  
消灯しない場合

トイレブースの壁や便器を感知していますので、感知距離の再設定が必要となります。設定方法は「9.1 切替スイッチの調節」を参照してください。ドアを開けたままでセンサーの感知表示ランプが点灯する場合にも、感知距離の再設定を行ってください。

それでも感知表示ランプが点灯している場合には、ムダな洗浄を防ぐために自動洗浄機能を「切」に設定してください。設定方法は「9.1 切替スイッチの調節」を参照してください。



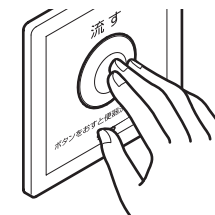
### タッチスイッチの場合

手かざしセンサーから5cm以内に約1秒手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。

ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。電源投入後、10分以内は手をかざすと感知表示ランプが点滅します。(親機のみ)



ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、ムダな洗浄を防ぐため、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



### 洗浄水量の少ない小洗浄で洗浄性能の確認を行ってください。

小洗浄性能のめやすとしては、76cmに切断したトイレットペーパー（JIS品）を丸めたもの7個が1度に流れることを確認してください。右表を参考にし、センサーから5cm以内に約1秒手をかざして、小洗浄を行ってください。トイレットペーパーが流れない場合は、止水栓の開閉ねじで水勢の調整を行ってください。それでも流れない場合は、小洗浄水量を調節してください。調節方法は自動バルブユニットの施工説明書「6.3 ー 6 洗浄水量の調節」を参照してください。

大小洗浄機能	人体センサーの感知時間	洗浄水量
大小	6秒以上～小洗浄判定時間 (120秒または150秒)	小洗浄水量
	小洗浄判定時間以上	大洗浄水量
大	—	大洗浄水量

※設定方法は「9.1 切替スイッチの調節」を参照してください。

使用者に操作方法がわかるように、お取り付けのシステムに合ったラベルを選び、スイッチユニットに近い壁面に貼り付けてください。

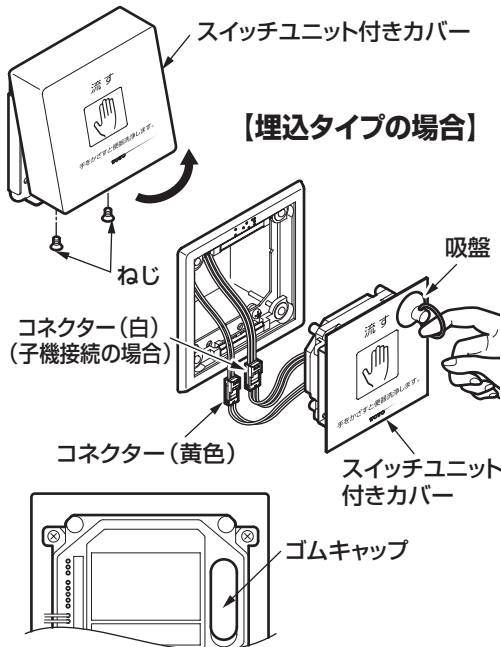
# 9.1

## 切替スイッチの調節

センサースイッチ（親機）の光電センサーで以下の設定が可能です。  
光電センサーを取り外し、以下の設定を行ってください。

### 光電センサーの取外方法

【露出タイプの場合】



【埋込タイプの場合】

### 1. スイッチユニット付きカバーを取り外す。

コネクターを無理に引っ張らないように十分ご注意ください。

【露出タイプの場合】

ねじ（2カ所）を外し、下側から外してください。

【埋込タイプの場合】

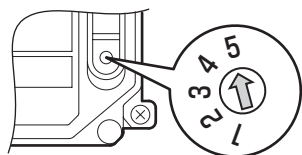
カバーに吸盤を付け、引っ張ってください。

### 2. コネクターを外す。

親機の場合・・・黄色  
子機接続の場合・・・黄色・白

### 3. ゴムキャップを外す。

### 感知距離の設定（人体センサー）



スイッチ	1	2	3	4	5
感知距離 (単位:mm)	400	500	600	700	800

※出荷時は「スイッチ5：800mm」に調整してあります。

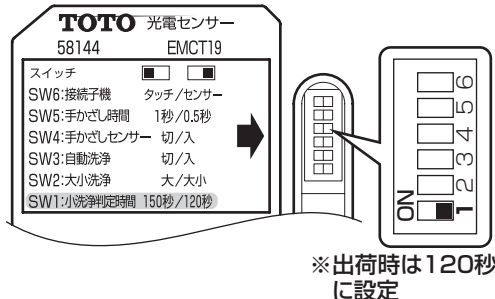
●人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合

・・・感知距離調整スイッチを「5」から「4」へ回す。

●スイッチ切り替え後も人体センサーの感知表示ランプが点灯したままの場合

・・・感知距離調整スイッチを1つずつ下げて調整してください。

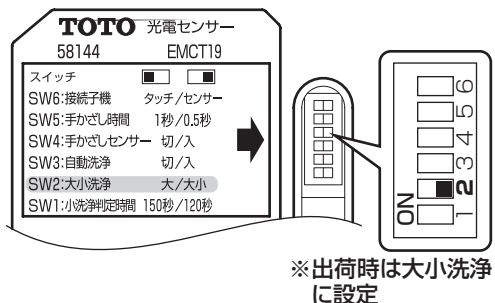
### 小洗浄判定時間切替方法



### スイッチ1(SW1)を切り替える。

人体センサーの感知時間により大/小便を判定して適正水量を流します。  
工場出荷時は、120秒に設定していますが、スイッチ1(SW1)を切り替えることで、150秒に設定することもできます。

### 大小洗浄切替方法

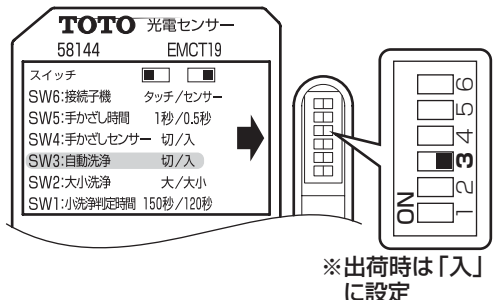


### スイッチ2(SW2)を切り替える。

スイッチ2(SW2)を切り替えることで大洗浄のみの場合と、大小洗浄の判定を行う場合とを選択できます。  
工場出荷時は大小洗浄の判定を行うように設定しています。

※マイザレット、汚物流し(SK33、SK35、SK434)および自動バルブユニットの施工説明書「**6-3** 洗浄水量の調節」に記載の便器以外に取り付ける場合は、必ず「大」に設定してください。

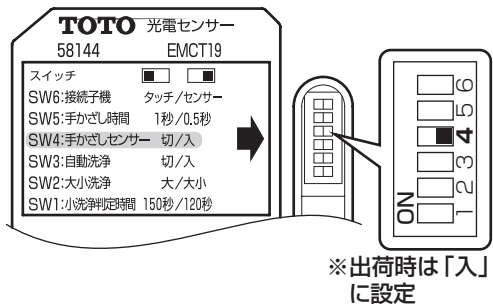
### 自動洗浄切替方法



### スイッチ3(SW3)を切り替える。

流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するよう工場出荷時に設定しています。  
自動洗浄をオフする場合は、スイッチ3(SW3)を「切」に設定してください。

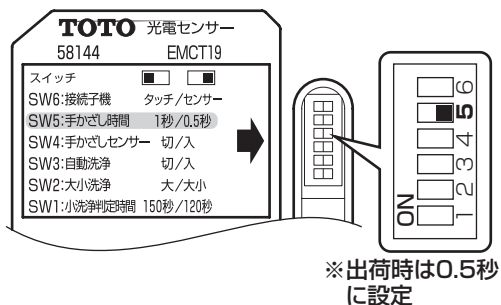
## 手かざしセンサー切替方法



### スイッチ4(SW4)を切り替える。

衛生的な洗浄のため、工場出荷時は手かざしセンサーを「入」に設定しています。手かざしセンサーによる不用意な洗浄を完全になくしたい場合は、スイッチ4 (SW4) を「切」に設定してください。「切」の状態でも子機センサーは使用できます。

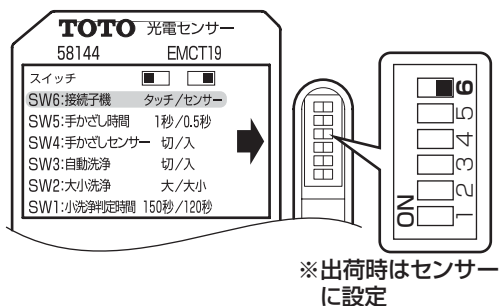
## 手かざし時間切替方法



### スイッチ5(SW5)を切り替える。

工場出荷時は0.5秒に設定しています。もし、手かざしセンサーによる不用意な洗浄がある場合はスイッチ5 (SW5) を1秒に設定してください。

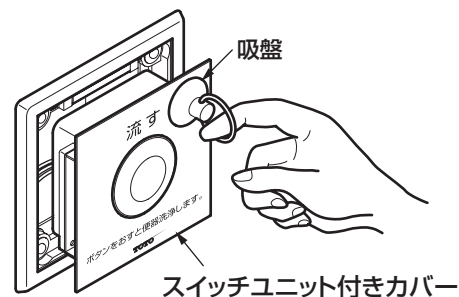
## 接続子機の切替方法



### スイッチ6(SW6)を切り替える。

工場出荷時は「センサー」に設定しています。子機のタッチスイッチを接続する場合はスイッチ6 (SW6) を「タッチ」に設定してください。

## オプション品の取り替え



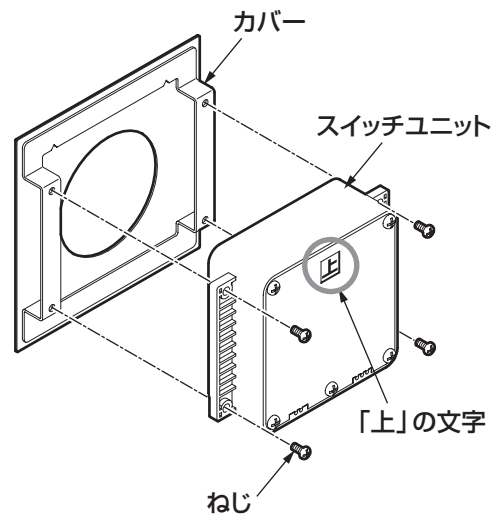
### 1. スwitchユニット付きカバーを取り外す。

カバーに吸盤を付け、引っ張ってください。

コネクターを無理に引っ張らないように十分ご注意ください。

### 2. コネクターを外す。

親機のみの場合・・・黄色  
子機接続の場合・・・黄色・白



### 3. カバーを外し、取り替える。

スイッチユニット付きカバー裏側のねじ(4カ所)を外し、カバー (TH758:オプション品) に取り替える。

スイッチユニットの「上」の文字が上になるように取り付けてください。

### 4. コネクターを取り付け、スイッチユニット付きカバーを取り付ける。

# 11 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

## 埋込タイプ

### コネクターの確認

コネクタが接続されているか確認してください。

コネクタは確実に接続していますか？

↳ 6-4 - 4 「コネクタの接続」参照

### ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

取付板のねじはゆるんでいませんか？

↳ 6-1 6-2 - 3 「取付板の取り付け」参照

フレームはしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-3 - 3 「フレームの取り付け」参照

スイッチユニット付きカバーはしっかり取り付けられていますか？

↳ 6-5 - 5 「スイッチユニット付きカバーの取り付け」参照

## 露出タイプ

### コネクターの確認

コネクタが接続されているか確認してください。

コネクタは確実に接続していますか？

↳ 6-4 - 4 「コネクタの接続」参照

### ガタツキの確認

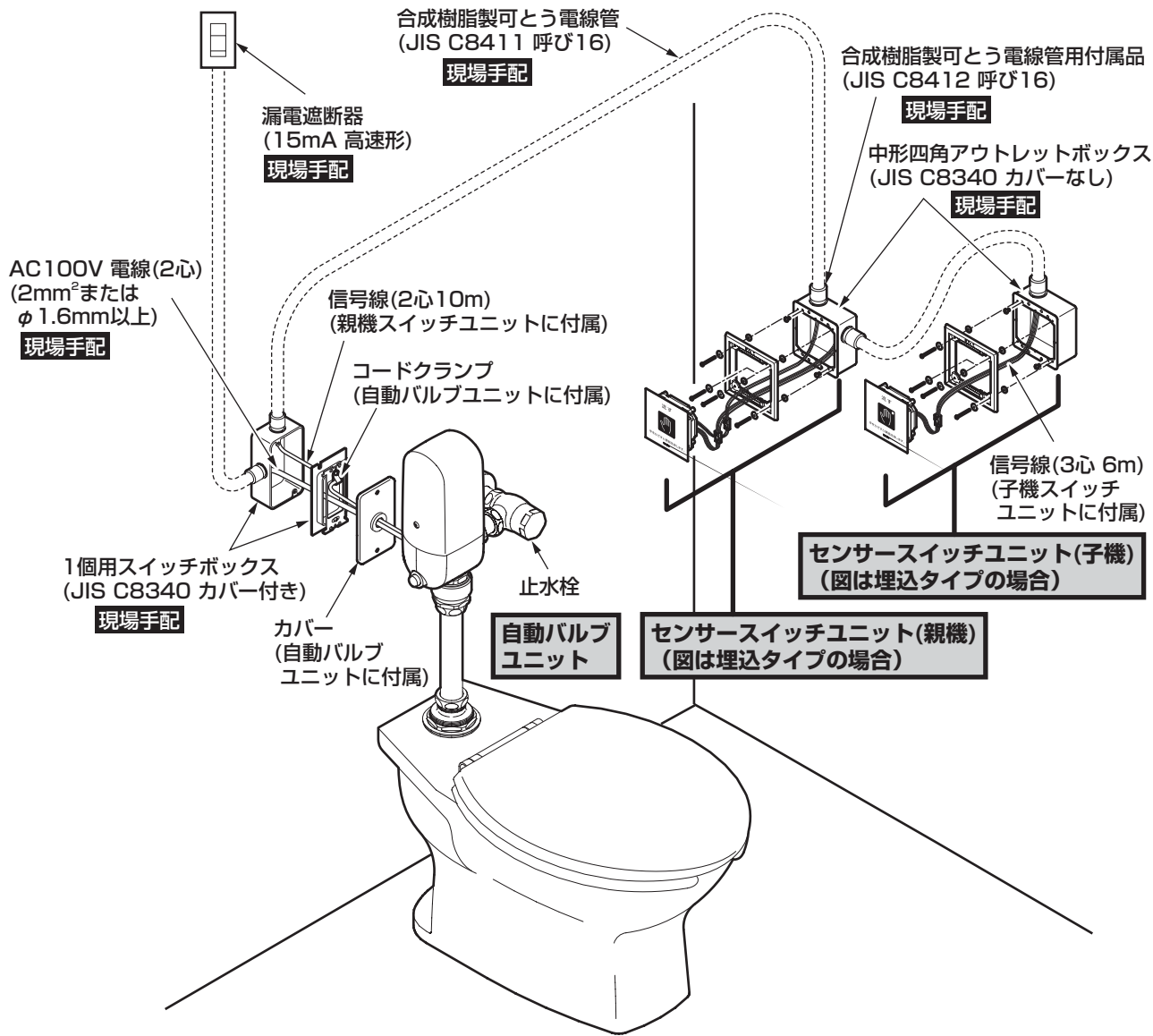
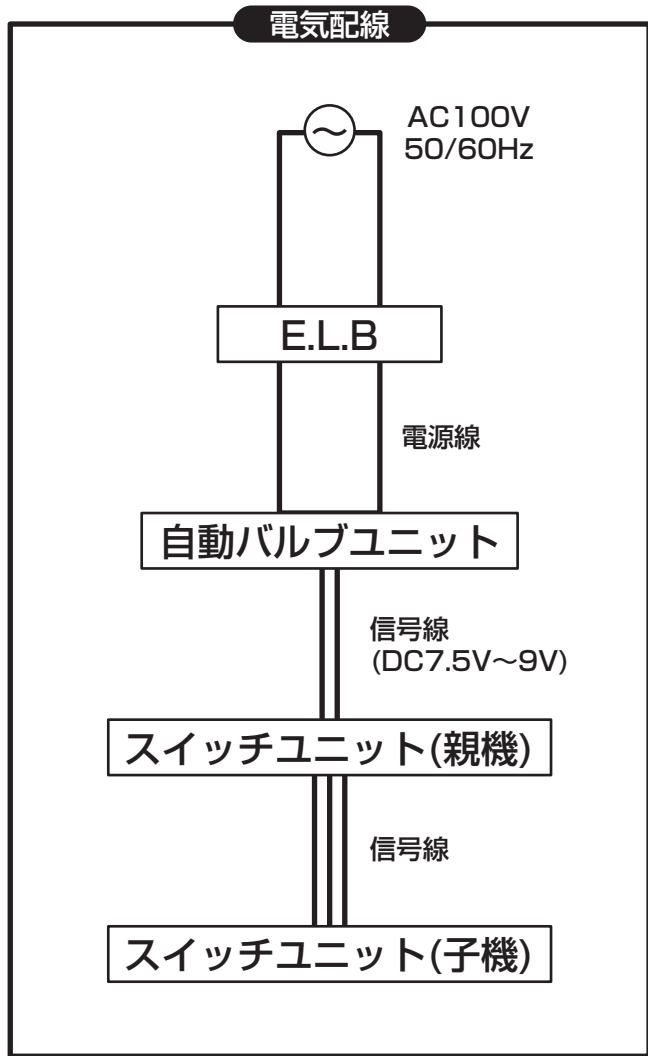
ガタツキがないか確認してください。

取付板のねじはゆるんでいませんか？

↳ 7-2 - 2 「取付板の取り付け」参照

スイッチユニット付きカバーはしっかり取り付けられていますか？

↳ 7-3 - 4 「スイッチユニット付きカバーの取り付け」参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。